我等の努むべきは徒らに虚名を博することにあらずして實質を掴むことである。形式を衒ふ辯證法の研究に耽ることにあらずして實力を築け上げることである。上にあらずして内容を整備することである。我等は此の意味に於て堂々と確信の上に立ち過去の踏み來りし道を勇敢に踏み行くべきである。我等は過去の体驗が我等の確信を裏切らざりしことを如實に見、運動の前途を望見して勇躍禁じがたきものがある。

進め！我等の同志よ！我等は飽くまでも現實を直視して確信の上に丈夫の如く歩まむ。『我等の未來』の扉は空理空論を乗ぶものによつて開かるゝにあらずして固く確信を抱いて大地を踏み、不斷の努力を續くるものによつてのみ其鍵が握つてあるが故である。

大正十五年十月

日本勞働總同盟　會長　鈴木文治

本部一般報告

昨年十月の全國大會以後今日までに於ける勞働總同盟の運動狀勢は以下各部の報告に詳細に述べられて居るが、茲に大体の重要なる問題を述ぶれば次の如くである。

一、無產政黨の問題は昨年の大會に於て決定せられたる方針に從つて、政治部を中心として其の活動は行はれた。先づ昨年十一月九日無產政黨準備委員會第三回綱領委員會が開かるゝに當つて、我が勞働總同盟は內外の形勢を觀取し、共產主義系の團体と共に無產政黨を組織することは到底不可能にして又無產政黨の健全なる發達を期する所以にあらざるを確信し、既に右無產政黨準備委員會より脫退を聲明するに至つた。かくて總同盟の脫退後十二月一日新に生れたる農民勞働黨は直ちに禁止せられ再び無產政黨の再起の企てあるや、總同盟は飽く迄